

れいわなねん じゅういち じゅうにがつ し
令和七年 十一・十二月の詩

あきのそら

こねずみしゅん

くぬぎばやしで

どんぐりを

だいていたら

かぜが ひゅうと

とおりすぎました

みあげると

こえだを すかして

あおいそらが みえました

きれいだよ きれいだよ と

なんかいいも いいたくなる

あおい そらでした

しんこきゅうしたら

こころの なかまで

そらいろに そまりました

『のはらうた V』 工藤直子 童話屋

おもいうかんだえやイラストをかいてみましょう。